

# 技術研究事業 技術委員会自主研究等 「公共測量における航空レーザ測量の標準的な製品仕様書」の公開

当協会が、協会Webページ等で発信している多数の情報の中から注目していただきたい公益目的事業活動に関する内容をピックアップ!

第1回は、技術研究事業から、『技術委員会自主研究等「公共測量における航空レーザ測量の標準的な製品仕様書」の公開』を紹介いたします。

Web情報とあわせて、機関誌『先端測量技術』を、今後も有効な情報収集ツールとしてご活用いただき、当協会活動をよりご理解いただく一助となれば幸いです。

## ◆技術研究事業/技術委員会自主研究等「公共測量における航空レーザ測量の標準的な製品仕様書」公開のご紹介

2023年1月27日公開

<https://www.sokugikyo.or.jp/technical/index.html>



当協会WEBサイトは、2023(令和5)年度中に全面リニューアルを予定しています。

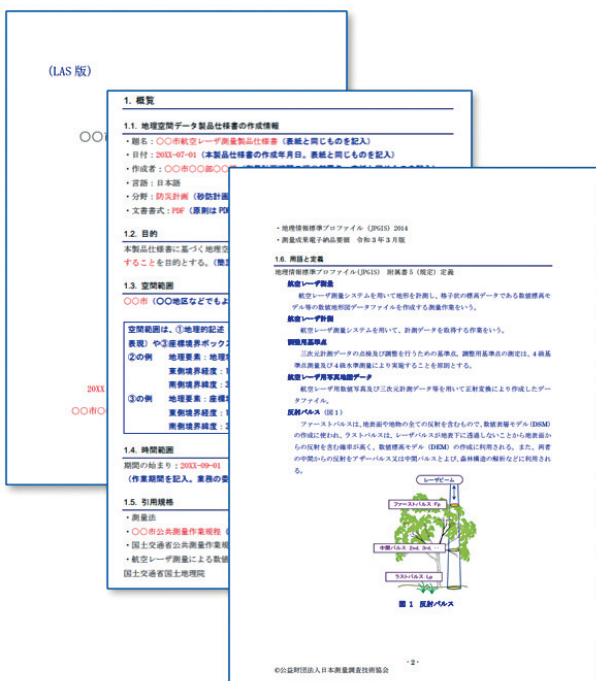


航空レーザ測量による3次元地形データは幅広い分野で利用されています。航空レーザ測量はもはや国土の基盤情報を構築する技術として、なくてはならない測量手法です。

空中計測・マッピング部会 航空レーザワーキンググループでは、航空レーザ測量による3次元地形データを含めた成果の標準化と普及を目的に「公共測量における航空レーザ測量の標準的な製品仕様書」をGISセンターの協力のもと作成しました。

さらに、今後は計測密度の更なる増加が予想され、これまでの数値地形図データで扱われていたテキスト等のファイル形式ではデータハンドリングが非効率になることを懸念し、点群データの一般的な形式であるLAS形式を成果品とする「公共測量における航空レーザ測量の標準的な製品仕様書LAS版」を作成いたしました。

これらのデータはどなたでもダウンロード可能です。皆様にご活用いただければ幸いです。



◆測技協が実施する7つの公益目的事業活動とは

当協会は、2012（平成24）年に公益財団法人として認可され、7つの公益目的事業を設定し、法人活動を含めたこれらを一体的に推進して活動を行っています。例えば、2：技術普及事業として機関誌『先端測量技術』が発行（Web掲載）されています。同じく、技術普及事業の一つとして実施された第44回測量調査技術発表会の発表に基づいて投稿された論文が、本号（118号）に掲載されています。掲載された論文は優秀技術論文の選考対象となり、7：表彰事業において表彰されます。

公益目的事業		事業内容
1	技術研究	共同・受託研究
		技術委員会部会WG活動における自主研究等 
		外部委員会等
2	技術普及	発表会・セミナー等開催
		機関誌・技術図書発行
		情報発信・共有、人材育成支援 測量継続教育（CPD）
3	地理情報の標準化	ISO/TC 211国内審議団体の活動
		地理情報JIS原案作成
		地理情報標準の普及
4	地理情報認定資格	地理情報標準認定資格（S-GI-Cert）の運営
5	品質検定	測量成果品質検定/「測量成果品質管理」優良表彰
6	災害時緊急撮影	協定に基づく対応/訓練
7	表彰	優秀技術論文/優秀発表

こちらも注目  Pick up!

◆「緊急撮影」「災害対応」ページ『会員企業による災害時自主撮影』

[https://www.sokugikyo.or.jp/disaster\\_info/index.html](https://www.sokugikyo.or.jp/disaster_info/index.html)

当協会の特定の公益目的事業に直接紐づくものではありませんが、測量調査技術業界の災害対応に関する社会貢献をアピールする場として公開している、「災害対応」ページ『会員企業による災害時自主撮影』をご紹介します。

本ページは、当協会HPトップページの右側メニュー「緊急撮影」からリンクされています。一番上が、当協会の公益目的事業「災害時緊急撮影」についての説明、その下が『会員企業の災害時自主撮影』、下部が当協会参画のSIP【災害時撮影情報提供システム】へのリンクとなっています。

災害時自主撮影の対象は、当協会または会員からの提案により、掲載要と判断した災害について気象庁などによる災害情報を参考に「年度\_災害名」を決定し、撮影対象は、航空写真撮影、衛星画像、その他の撮影等の種類を問いません。リンク先は、原則として会員が当該情報を掲載した会員企業のWEBサイトのURLとしています。

